

地域の目で子どもたちの見守り活動をお願いします！

★未来ある子どもたちを犯罪や事故などから守りましょう！！

地域のみなさんが子どもたちに関心を持つことは、子どもを見守るための前提となる重要なことです。

関心がないと、子どもを注意して見なくなります。そうすると、不審者等から声をかけられている子どもや、事件に巻き込まれている子どもを見逃してしまうかもしれません。



◎ 登下校時の付き添いと見守り

自主防犯活動団体やPTA等が、通学路を守る活動に取り組むことは防犯上、非常に大切です。

特に集団登下校の付き添いは、継続して子どもを見守ることができることから効果があるといえます。

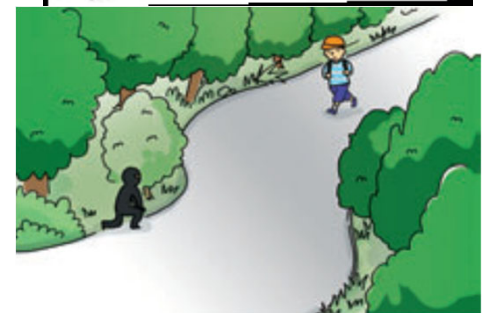
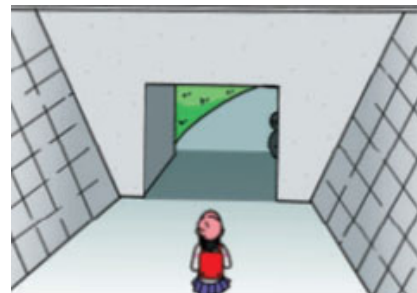
大人が子どもの集団に付き添ったり、注意が必要なポイントに立って見守ったりすることで、住民の目が行届き、安全性は高められます。



◎ パトロール活動による見守り

特に注意が必要な場所

- ・ 地下道・高架下のトンネル等
- ・ 沿道に高い塀やうっそうとした樹木がある道路
- ・ 沿道に人家・店舗等が少なく、人通り・交通量も少ない道路
- ・ うっそうとした林の中の通学路
- ・ 沿道にある管理されていない空地・空家(廃屋)



などの場所を見守るには、できるだけ多くの方がパトロール等の活動を通じて、見回ることが重要です。

防犯用のジャンパー等を着た人や、ステッカーを貼った車・自転車等がパトロールをすることは、子どもや住民に安心感を与えます。

◎ 散歩や買物を活用した見守り

防犯団体に入っていないなくても、子どもを見守る活動ができます。

子どもの登下校の時間やルートに合わせて、買物や散歩をすることです。

通学路に住民の目を注ぎ、見守りの効果があります。

この時、自転車に防犯ステッカー等が貼ってあるとパトロールをしていることがわかり、子どもに安心感をあたえます。



◎ 「子ども110番の家」等への協力

子どもたちが身の危険を感じた際、いざという時に駆け込める「子ども110番

の家」等が通学路沿いにあると、登下校の子どもたちには心強く、見守られているんだという安心感を与えます。

特に、通学路の注意が必要な場所の近辺にあると、より効果的です。

学校等から指定について協力依頼があった場合は、ぜひ協力してください。子どもと大人の交流、子どもと大人が、「お互い顔を知っている」、「あいさつや声をかけ合える」ということは、非常に大切なことです。

